

HomeEdge  
インストールマニュアル for MTU2400  
V1.0J

**canopus**



## ご注意

- (1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本製品は内容について万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの点がありましたら、当社までご連絡ください。
- (4) 運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6) 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
- (7) カノープス、CANOPUS/カノープスおよびそのロゴは、カノープス株式会社の登録商標です。
- (8) Microsoft、Windowsは米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。また、その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。



## 表記について

- 本書に記載されていない情報が記載される場合がありますので、ディスクに添付のテキストファイルも必ずお読みください。
- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書かれています。特に記載の無い操作については、一般的なパソコンの操作と同じように行ってください。
- 本書ではMicrosoft® Windows® Millennium Edition operating system、Microsoft® Windows® 2000 operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP operating systemをWindows Me、Windows 2000、Windows XP (Home EditionおよびProfessionalの総称)と表記します。



## 警告

### ■ 健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニタに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にたんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでにされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

### ■ 著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像/音声をキャプチャしたデータは、動画、静止画に関わらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。キャプチャしたデータのご利用に対する責任は当社では一切負いかねますのでご注意ください。

HomeEdge  
インストールマニュアル for MTU2400  
Version 1.0J  
February 26, 2003  
Copyright © 2003 Canopus Co., Ltd.  
All rights reserved.

## 目次

<b>第1章 確認</b> .....	<b>1</b>
はじめに.....	2
使用許諾契約書について .....	2
ご使用に当たっての留意事項 .....	2
シリアルナンバーシールについて .....	3
動作環境の確認.....	4
PC本体について .....	4
■必要な動作環境 .....	4
HomeEdge のシステム構成 .....	6
HomeEdge について .....	6
■ HomeEdge の機能.....	6
■ HomeEdge のソフトウェア構成 .....	7
HomeEdge を使用したシステムの概要 .....	7
HomeEdge で MTU2400 を使う .....	8
■ MTU2400 でテレビ映像を見る場合 .....	8
■ サーバー PC が MTU2400 で録画状態にある場合 .....	8
<b>第2章 インストール</b> .....	<b>9</b>
インストール.....	10
HomeEdge Server のインストール.....	10
HomeEdge Client のインストール.....	15
インストール後の動作確認 .....	19
■ HomeEdge Environment Checker で動作確認 .....	19
■ HomeEdge Player で動作確認.....	20
アンインストール .....	21
HomeEdge が正常に動作しない場合 .....	24

■ HomeEdge Server をインストールした PC、および HomeEdge Client をインストールした PC の確認 .....	24
■ HomeEdge Client をインストールした PC の確認 .....	24
■ HomeEdge Server をインストールした PC の確認 .....	24

**FAQ .....** 25

■ HomeEdge の Server および Client のネットワーク設定を確認する .....	25
■ HomeEdge の Server の設定を確認する .....	27
■ HomeEdge の Client の設定を確認する .....	27



# 確認

この章では、HomeEdgeのセットアップを行う前に確認していただきたい事項やご注意いただきたい事項について説明します。

- |    |                 |      |
|----|-----------------|------|
| 1. | はじめに            | 2ページ |
| 2. | 動作環境の確認         | 4ページ |
| 3. | HomeEdgeのシステム構成 | 6ページ |

## はじめに

### 使用許諾契約書について

本製品をご利用いただくには、この使用許諾契約書の内容にご同意いただく必要があります。ソフトウェアのセットアップ時に表示される使用許諾契約にご同意いただけない場合や、ご不明な点がございましたら、本書およびディスク以外のパッケージを開封せずに下記カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

このソフトウェア使用許諾契約は、お客様がセットアップを実行された時点で内容にご同意いただいたものとさせていただきます。

カノーブスカスタマーサポート

〒651-2241 神戸市西区室谷 1-2-2 カノーブス株式会社 カスタマーサポート宛

### ご使用に当たっての留意事項

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。

製品本来の使用目的及び、当社が提供を行っている使用環境以外での動作は保証いたしかねます。CPUなどを定格外でご使用の場合、本製品の動作保証は一切いたしかねます。

本製品を使用して他人の著作物（例：CD・DVD・ビデオグラム等の媒体に収録されている、あるいはラジオ・テレビ放送又はインターネット送信によって取得する映像・音声）をあつかう場合の注意点は下記の通りとなります。

- 著作権上、個人的又は家庭内において著作物を使用する目的で複製をする場合を除き、その他の複製あるいは編集等が著作権を侵害することがあります。収録媒体等に示されている権利者、放送、送信、販売元または権利者団体等を介するなどの方法により、著作者・著作権者から許諾を得て複製、編集等を行う必要があります。
- 他人の著作物を許諾無く複製または編集して、これを媒体に固定して有償・無償を問わず譲渡すること、またはインターネット等を介して有償・無償を問わず送信すること（自己のホームページの一部に組み込む場合も同様です）は、著作権を侵害することになります。
- 本製品を使用して作成・複製・編集される著作物またはその複製物につきましては、当社は一切責任を負いかねますので予めご了承ください。

## シリアルナンバーシールについて

シリアルナンバーシールからインストールキー(シリアル番号)をCDケース裏面に貼付してください。このインストールキーはソフトウェアのインストール(再インストール)時に必要となりますので、大切に保管してください。

## ☒ 動作環境の確認

本製品をお使いいただく前に、PC本体がHomeEdgeをインストールしてお使いいただけるものであるかどうかを確認してください。

### PC本体について

以下の条件を満たしている場合でも、PC本体の問題によって正常に動作しない場合があります。以下に書かれている条件を満たしているすべてのPCでの動作を保証しているものではありません。

#### ■ 必要な動作環境

本製品をお使いいただくために最低限必要な環境です。

##### □ サーバー PC

CPU	Intel Pentium III 800MHz 以上 ※ ビットレート / ファイル変換機能を使用するには、Pentium 4 2GHz 程度が必要となります。
メモリ	256MB 以上
ハードディスク	プログラム本体のインストールのため4MB以上の空きが必要
CD-ROMドライブ	ソフトウェアのセットアップに必要
対応 OS	Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版 Microsoft Windows XP Home Edition 日本語版 Microsoft Windows XP Professional 日本語版
対応デバイス (テレビ / ビデオ映像のライブ配信を行う場合に必要です。)	MTV シリーズ ※ GME500 を装着していない MTV800HX を除く。MTV2200SX Light でテレビ映像を配信するにはオプションの TBOX が必要です。 MTU2400 ※ それぞれのデバイスの動作環境を満たしていることが必要です。USB 2.0 環境の場合、最大 5 台 (MTV シリーズ併用時には最大 4 台) の接続が可能です。 ※ テレビ映像およびライブ配信 (MTV または MTU2400 のビデオ入力映像) は、1 デバイスに 1 クライアントのみとなります。

## □クライアント PC

CPU	Intel Pentium III 800MHz 以上
メモリ	256MB 以上
ハードディスク	プログラム本体のインストールのため4MB 以上の空きが必要
CD-ROMドライブ	ソフトウェアのセットアップに必要
グラフィック環境	DirectX 8.1 以上に対応したもの
サウンドシステム	WDM 対応のもの
対応 OS	Microsoft Windows Me 日本語版 Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版 Microsoft Windows XP Home Edition 日本語版 Microsoft Windows XP Professional 日本語版
対応デバイス (ビデオ信号を外部出力する場合に必要です。)	DVStorm シリーズ、VideoGate 1000 ※ それぞれのデバイスが動作し、ネットワークアクセスと競合しない必要があります。これらのデバイスを併用する場合、PCIバスの負荷が高まり、画面表示に影響が出る可能性があります。

## □サーバー PC/ クライアント PC (共通)

ネットワーク環境	ルータなどを利用してローカルIPアドレスを設定したネットワーク
----------	---------------------------------

## □対応ファイル形式

- MPEG1 システムストリーム
- MPEG2 プログラムストリーム
  - ※ エレメンタリストリーム、音声Dolby DigitalまたはWAVEのもの、VOB形式 (DVDから取りだしたもの) はサポートしていません。
- AVI
  - ※ 画面解像度(縦サイズ)が 480, 240, 576, 288 のいずれか、音声周波数が48kHz、44.1kHz、32kHzである必要があります。また、一部のAVIには配信できないものもあります。
- MP3
  - ※ MP3は、DVStorm、VideoGate 1000 などのハードウェアからは出力されません。
  - ※ RIFF形式のMP3は再生できません。

## HomeEdge のシステム構成

### HomeEdge について

HomeEdgeはサーバーPCのディスクに保存されたメディアファイルを、ネットワークに接続されたクライアントPCで視聴するためのソフトウェアです。

#### ■ HomeEdge の機能

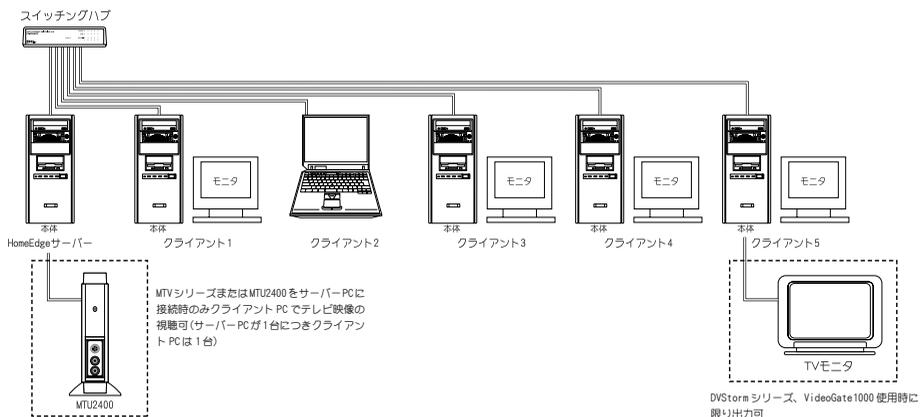
- **メディアファイルの整理**  
メディアファイルの管理または分類を行うことができます。
- **メディアファイルの配信**  
サーバーに保存されたメディアファイルをクライアントPCで再生することができます。数秒分のバッファを持つことで、ネットワークの状態があまりよくない状況でも途切れにくい再生を可能にしています。
- **ビットレート / ファイル変換機能**  
AVIファイルや高ビットレートのMPEGファイルを、ネットワーク経由で視聴するのに適したビットレートのMPEGにリアルタイムで変換しながら配信することができます。  
※ ソフトウェアでのMPEGまたはAVIファイルの変換をとまなうストリームを再生している場合、1台のクライアントのみ配信が可能となります。
- **テレビ映像配信機能**  
MTVシリーズおよびMTU2400をサーバーPCに接続することで、クライアントPCでテレビ視聴が可能になります。  
※ テレビ映像の配信は、1デバイスに対して1クライアントのみとなります。
- **DVStorm、VideoGate 1000 にも対応**  
DVStormシリーズまたはVideoGate 1000が装着されているクライアントPCでは、配信された映像コンテンツをビデオ出力することが可能です。
- **1サーバ 5クライアントまで接続可能**  
複数のサーバを起動するには、複数のパッケージを購入することで実現できます。ただし、この場合にも1台のサーバーに同時接続できるクライアント数は5台までです。

## ■ HomeEdge のソフトウェア構成

- HomeEdge 管理者ツール(サーバー PC)  
サーバーコンテンツの自動収集・管理・一覧やデータベースメンテナンスおよびコンテンツ配信サービスの設定を行います。
- HomeEdge Explorer(サーバー PC/ クライアント PC)  
サーバー PC およびクライアント PC で動作するツールでHomeEdge データベースの内容を一覧表示または整理を行います。
- HomeEdge Player(サーバー PC/ クライアント PC)  
コンテンツ再生を行うためのコントローラです。明るさ、コントラストおよび明度の調整などを行うことができます。コンテンツリストまたはプレイリスト上で再生コンテンツの情報の確認や、再生を行うこともできます。DVStorm シリーズまたは VideoGate 1000 を使用した簡易プレビューも行えます(ハードウェアによるMPEGエンコードのみ対応)。

## HomeEdge を使用したシステムの概要

次の図は HomeEdge の接続例です。



HomeEdge はルーターを越えて接続することはできません。



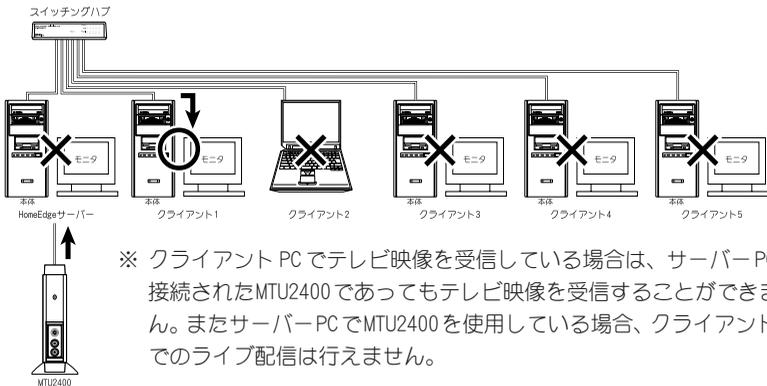
MTVシリーズおよびMTU2400で録画予約設定を行っている状態でライブ配信を録画開始時間になっても継続している場合、録画予約は実行されません。

## HomeEdge で MTU2400 を使う

HomeEdge Server をインストールしている PC に MTU2400 を接続することで、サーバー側またはクライアント側でテレビ映像を見ることができます。

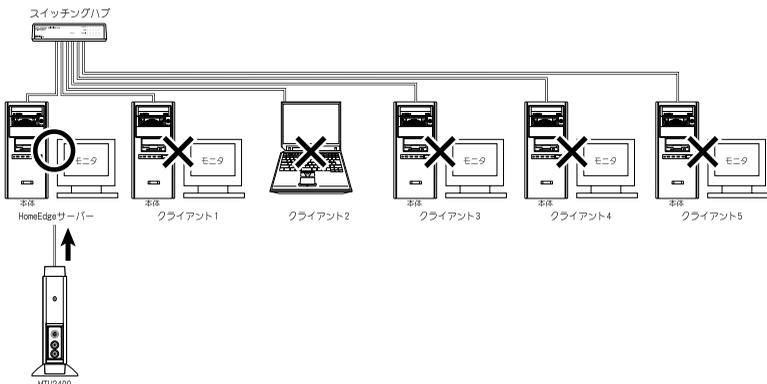
### ■ MTU2400 でテレビ映像を見る場合

MTU2400 をサーバー PC に接続し、テレビ映像のライブ配信を行うことができます。ライブ配信できるのは、サーバー PC に接続された MTU2400 一台につきクライアント PC 一台のみです。



### ■ サーバー PC が MTU2400 で録画状態にある場合

サーバー PC が MTU2400 を使用してテレビ映像等の録画状態にある場合は、クライアント PC 側でテレビ映像を受信することはできません。また、サーバー PC が録画予約設定を行っている状態でも録画予約開始時間にクライアント PC でテレビ映像を受信していると、サーバー PC の録画予約設定内容は実行されませんので注意が必要です。



# II

# インストール

この章では、HomeEdgeのインストール方法について説明します。

- |    |                     |       |
|----|---------------------|-------|
| 1. | インストール              | 10ページ |
| 2. | インストール後の動作確認        | 19ページ |
| 3. | アンインストール            | 21ページ |
| 4. | HomeEdgeが正常に動作しない場合 | 24ページ |
| 5. | FAQ                 | 25ページ |

## ■ インストール

### HomeEdge Server のインストール

HomeEdge Server に関連するアプリケーションを一括でインストールします。Windows 2000/Windows XP とも同様の手順でインストールを行います。ここでは、Windows XP 環境へのインストールを例に説明します。

- ※ インストール作業を行う場合は、システム設定の変更を行える資格を持つユーザー ID (Administrator、コンピュータの管理者等)でログオンしてください。
- ※ インストール作業を行う前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。
- ※ コンピュータウィルスの駆除ソフトウェアをインストールしている場合は、一時的に常駐を解除(無効)にしてください。インストール完了後、元の状態に戻してください。



HomeEdgeのインストールを行う前に、あらかじめ『MTU2400』のインストールが行われている必要があります。また、『MTU2400』が認識されない時はHomeEdge Serverのインストールは行えません。

1

『HomeEdgeソフトウェアインストールCD』をCD-ROMドライブにセットしてください。



すべてのインストールが終了するまで、『HomeEdgeソフトウェアインストールCD』をCD-ROMドライブから取り出さないでください。

2

CD-ROMが自動起動します。

- ※ CD-ROMが自動起動しない場合は[スタート]メニューから[すべてのプログラム] (Windows 2000環境ではプログラム)→[アクセサリ]→[エクスプローラ]を起動し、CD-ROMを挿入したドライブを選択して開き、[SetupMgr.exe]をダブルクリックしてください。



インストール時には、以下の画面が表示されます。



インストール中にこの画面を閉じると、インストール作業を中断してしまいますので、すべての作業が完了するまで画面を閉じないようにしてください。

3

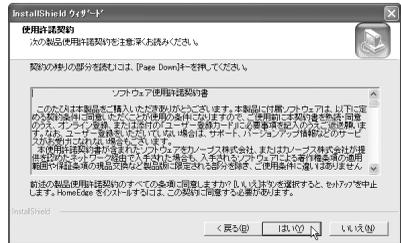
[次へ]をクリックしてください。



4

使用許諾契約が表示されますがバンドルソフトウェアのため、製品本体の内容に準拠します。同意される場合のみ[はい]をクリックしてください。使用許諾契約に同意されない場合は[いいえ]をクリックし、インストール作業を中断して当社カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

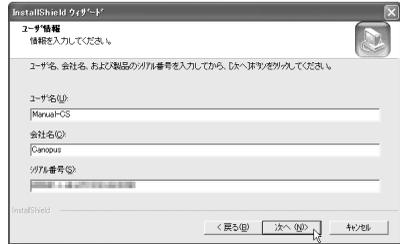
※ 使用許諾契約に同意されない場合、本ソフトウェアはお使いいただけません。



5

ユーザー名、会社名およびシリアル番号をキー入力し、[次へ]をクリックしてください。

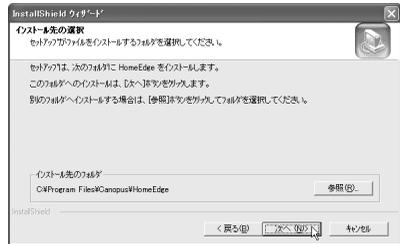
- ※ シリアル番号は、HomeEdgeのCD-ROMが入っているケース裏面に記載されています。
- ※ 0(ゼロ)とO(オー)、I(アイ)と1(イチ)など似ている文字があります。シリアル番号が誤っているというメッセージが表示された場合には、これらの文字を確認してください。



6

[次へ]をクリックしてください。

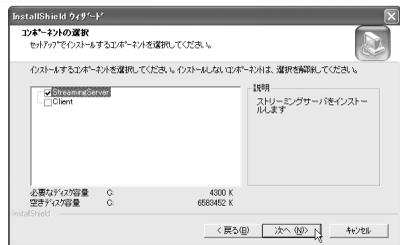
- ※ インストール先のフォルダを変更する場合は[参照]をクリックし、フォルダを指定してください。



7

[StreamingServer]にチェックを付け、[次へ]をクリックしてください。

- ※ [Client]には必要に応じてチェックを付けてください。



8

HomeEdgeのアイコンを登録するフォルダを選択し[次へ]をクリックしてください。



9

[次へ]をクリックしてください。

→ 配信したいファイルのあるフォルダを設定します。

※ 複数のフォルダを指定する場合は『;』で区切ってください。

※ 検索フォルダの設定は『管理者ツール』で行うことも可能です。



10

[次へ]をクリックしてください。

→ 監視する拡張子を設定してください。



11

[次へ]をクリックしてください。

→ データベースを作成するフォルダを設定してください。

※ デフォルトのフォルダをおすすめします。



12

HomeEdgeで使用するネットワークインターフェースを選択し[次へ]をクリックしてください。

→ コマンドプロンプトウィンドウが起動します。

※ [自動]を選択した場合、最初に見つかったネットワークを使用します。

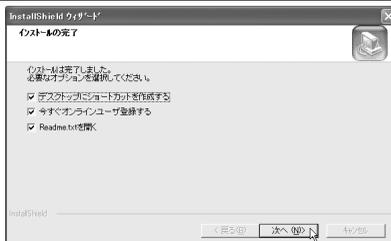


13

[次へ]をクリックしてください。

→ 選択するオプションにチェックを付けてください。

→ Readme.txtにはマニュアル等に記載されていない事項が記載されていますので、インストール時には必ずお読みください。



14

[はい、今すぐコンピュータを再起動します。]にチェックを付けて[完了]をクリックしてください。



15

[OK]をクリックしてください。



16

[OK]をクリックしてください。

→ コンピュータを再起動します。



以上でHomeEdge Server のインストール作業は完了です。



HomeEdge Server のインストール後にマシン名を変更する場合はメニューサービス用(プレイリストやコンテンツリスト)のデータベースを再構築する必要があります。

## HomeEdge Client のインストール

HomeEdge Client に関連するアプリケーションを一括でインストールします。

Windows Me/Windows 2000/Windows XP とも同様の手順でインストールを行います。

ここでは、Windows XP 環境へのインストールを例に説明します。

『CRM-1』をご使用の場合には、HomeEdge をインストールする前に『HomeEdge ソフトウェアインストール CD』内にある [CRM-1] フォルダを開き、[CRM1\_Setup.exe] をダブルクリックしてください。ただし CRM-1 添付ソフトは使用できません。

- ※ インストール作業を行う場合は、システム設定の変更を行える資格を持つユーザー ID (Administrator、コンピュータの管理者等) でログオンしてください。
- ※ インストール作業を行う前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。
- ※ コンピュータウィルスの駆除ソフトウェアをインストールしている場合は、一時的に常駐を解除(無効)にしてください。インストール完了後、元の状態に戻してください。

1

『HomeEdgeソフトウェアインストールCD』をCD-ROMドライブにセットしてください。



すべてのインストールが終了するまで、『HomeEdgeソフトウェアインストール CD』を CD-ROM ドライブから取り出さないでください。

2

CD-ROMが自動起動します。

- ※ CD-ROMが自動起動しない場合は[スタート]メニューから[すべてのプログラム] (Windows Me/Windows 2000環境ではプログラム)→[アクセサリ]→[エクスプローラ]を起動し、CD-ROMを挿入したドライブを選択して開き、[SetupMgr.exe]をダブルクリックしてください。



インストール時には、以下の画面が表示されます。



インストール中にこの画面を閉じると、インストール作業を中断してしまいますので、すべての作業が完了するまで画面を閉じないようにしてください。

3

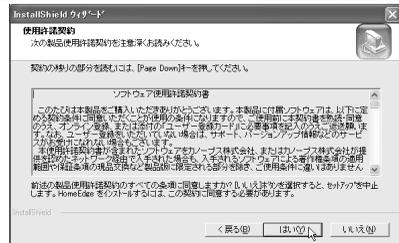
[次へ]をクリックしてください。



4

使用許諾契約が表示されますバンドルソフトウェアのため、製品本体の内容に準拠します。同意される場合のみ[はい]をクリックしてください。使用許諾契約に同意されない場合は[いいえ]をクリックし、インストール作業を中断して当社カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

※ 使用許諾契約に同意されない場合、本ソフトウェアはお使いいただけません。



5

ユーザー名、会社名およびシリアル番号をキー入力し、[次へ]をクリックしてください。

※ シリアル番号は、シリアルナンバーシールに記載されています

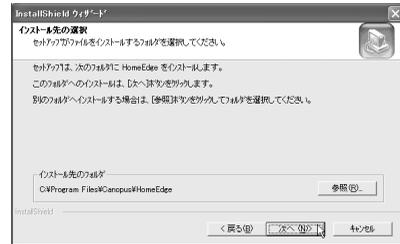
※ 0(ゼロ)と0(オー)、1(アイ)と1(イチ)など似ている文字があります。シリアル番号が誤っているというメッセージが表示された場合には、これらの文字を確認してください。



6

[次へ]をクリックしてください。

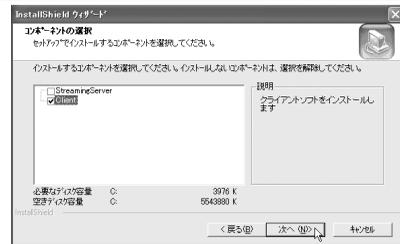
※ インストール先のフォルダを変更する場合は[参照]をクリックし、フォルダを指定してください。



7

[Client]にチェックを付け、[次へ]をクリックしてください。

※ [StreamingServer]にはチェックを付けしないでください。



8

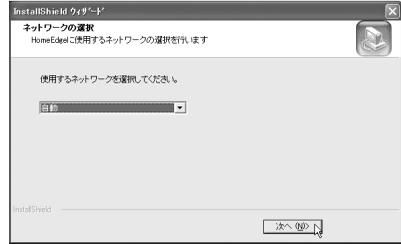
HomeEdgeのアイコンを登録するフォルダを選択し[次へ]をクリックしてください。



9

HomeEdgeで使用するネットワーク  
インターフェースを選択し[次へ]  
をクリックしてください。

※ [自動]を選択した場合、最初に見  
つけたネットワークを使用し  
ます。

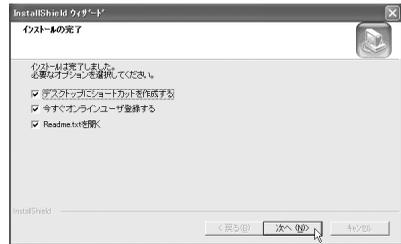


10

[次へ]をクリックしてください。

→ 選択するオプションにチェック  
を付けてください。

→ Readme.txtにはマニュアル等に  
記載されていない事項が記載さ  
れていますので、インストール時  
には必ずお読みください。



11

[はい、今すぐコンピュータを再  
起動します。]にチェックを付け  
[完了]をクリックしてください。



12

[OK]をクリックしてください。



13

[OK]をクリックしてください。

→ コンピュータを再起動します。



以上でHomeEdge Clientのインストール作業は完了です。

## ❑ インストール後の動作確認

### ■ HomeEdge Environment Checker で動作確認

HomeEdge Environment Checker はHomeEdgeのインストール後、コンテンツ配信を行うことが可能な環境かどうかを調べるツールです。HomeEdgeサーバーとクライアントの接続やハードディスクの転送速度などを調べることができます。

1

『HomeEdgeソフトウェアインストールCD』をCD-ROMドライブにセットしてください。

※ CD-ROMが自動起動する場合はキャンセルしてください。

2

[スタート]メニューから[すべてのプログラム] (Windows 2000環境ではプログラム)→[アクセサリ]→[エクスプローラ]を起動し、CD-ROMを挿入したドライブを選択して開き、[Tools]フォルダを開いてください。

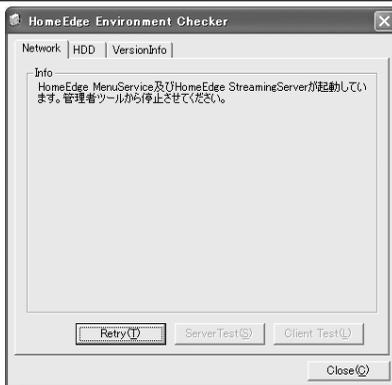
3

[HETEST.exe]をダブルクリックしてください。



4

HomeEdge Environment Checkerが起動します。



HomeEdge Environment Checker の使用方法については『HomeEdgeソフトウェアインストールCD』内の[Tools]→[HETEST.txt]を参照してください。

## ■ HomeEdge Player で動作確認

HomeEdge のインストール後、HomeEdge Player (HomeEdge Client 側) で動作確認を行います。

1

デスクトップ上にある [HomeEdge Player] をダブルクリックしてください。

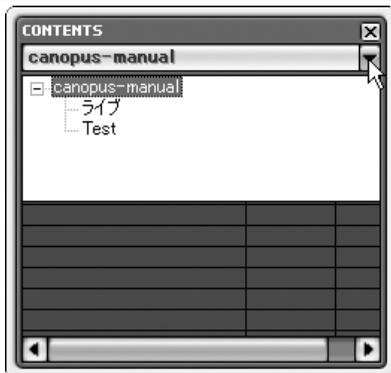
→ HomeEdge Player が起動します。



HomeEdgePI...

2

[CONTENTS] 内の  をクリックし、サーバーの情報が表示できれば設定は正常に行われています。



[CONTENTS] 内にサーバーの情報が表示されない場合は、p. 24 の「HomeEdge が正常に動作しない場合」を参照してください。



ネットワークセキュリティソフト等をインストールしていると HomeEdge の通信が制限されます。

# ■ アンインストール

アプリケーションを使用しなくなった場合には、アンインストールすることができます。また、アプリケーションのアップデートを行う場合には、アンインストール後に新しいアプリケーションのインストールを行うようにしてください。ここでは Windows XP 環境の手順で HomeEdge Server の削除を例に説明します。

- ※ アンインストールを開始する前に、現在起動しているアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。
- ※ アンインストールする場合には、システム設定の変更を行える資格を持つユーザー ID (Administrator、コンピュータの管理者等) でログオンしてください。
- ※ コンピュータウィルスの駆除ソフトウェアをインストールしている場合は、一時的に常駐を解除(無効)にしてください。インストール完了後、元の状態に戻してください。
- ※ HomeEdge Client のアンインストールでは多少画面が異なります。

1

[スタート]メニューから[コントロールパネル]へ進み、[プログラムの追加と削除]をクリックしてください。

※ Windows 2000環境では[スタート]メニューから[設定]→[コントロールパネル]へ進み、[アプリケーションの追加と削除]をクリックしてください。

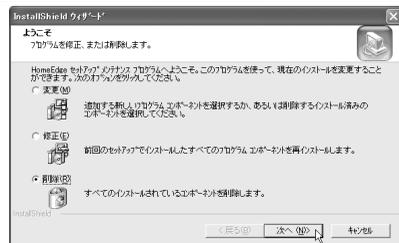
2

削除できるソフトウェアの一覧が表示されますので、[HomeEdge]を選択し、[変更と削除]をクリックしてください。



3

[削除]を選択し、[次へ]をクリックしてください。

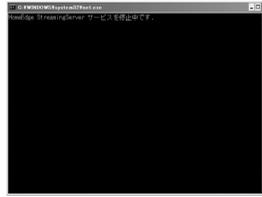


4

ファイル削除確認のメッセージが表示されますので、[OK]をクリックしてください。

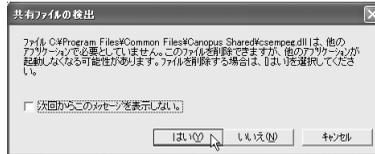
→ コマンドプロンプトウィンドウが起動します。

→ アンインストールを開始します。



アンインストール中に[共有ファイルの検出]ダイアログが表示された場合には、ご自分の環境にあわせて[はい]もしくは[いいえ]をクリックしてください。

※ 当社製DV ノンリニア編集システムをご使用の場合は[いいえ]を選択してください。



5

[はい]または[いいえ]をクリックしてください。



6

[完了]をクリックしてください。



7

[閉じる]をクリックしてください。

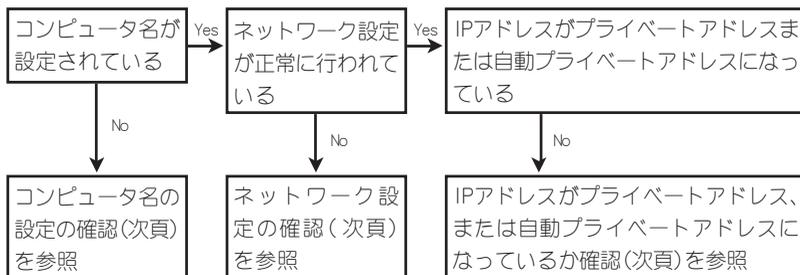


以上でアンインストール作業は完了です。

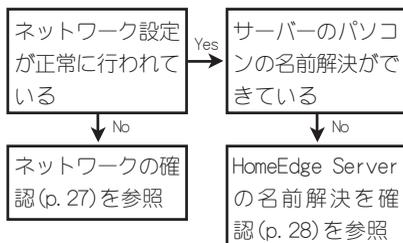
## ☒ HomeEdge が正常に動作しない場合

『HomeEdgeをインストールしたけれど正常に動作しない』という場合は以下の項目を確認してください。

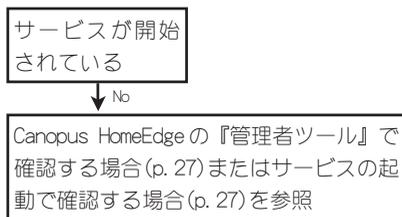
### ■ HomeEdge Server をインストールした PC、および HomeEdge Client をインストールした PC の確認



### ■ HomeEdge Client をインストールした PC の確認



### ■ HomeEdge Server をインストールした PC の確認



HomeEdge はルーターを越えて接続することはできません。

## ■ HomeEdge の Server および Client のネットワーク設定を確認する

### ・ コンピュータ名の設定の確認

- (1). [スタート]メニューから[マイコンピュータ]上で右クリックし、[プロパティ]を選択してください。[システムのプロパティ]ウィンドウが起動しますので[コンピュータ名]タブを選択し、[変更]ボタンをクリックすることで[コンピュータ名]が表示されます。

※ Windows 2000環境では[マイコンピュータ]から[コントロールパネル]→[システム]を起動し、[ネットワーク ID]タブを選択してください。

### ・ ネットワーク設定の確認

- (1). [スタート]メニューから[すべてのプログラム](Windows Me/Windows 2000環境ではプログラム)→[アクセサリ]→[コマンド プロンプト]を選択してください。  
→ [コマンドプロンプト]ウィンドウが起動します。
- (2). 「ipconfig」とキー入力し、[Enter]キーを押してください。  
→ IPアドレスとサブネットマスクが表示されます。

### ・ IPアドレスがプライベートアドレス、または自動プライベートアドレスになっているか確認

- (1). IPアドレスは次のいずれかに該当していない場合は使用することができません。
  - 10. 0. 0. 0 ~ 10. 255. 255. 255
  - 172. 16. 0. 0 ~ 172. 31. 255. 255
  - 192. 168. 0. 0 ~ 192. 168. 255. 255 (192. 168. x. 0 と 192. 168. x. 255 は除く)
  - 169. 254. 0. 0 ~ 169. 254. 255. 255
- (2). IPアドレスとサブネットマスクを10進数から2進数に変換します。

例)	IP Address	172.	16.	17.	70.
	Subnet Mask	255.	255.	255.	0.

IPアドレスとサブネットマスクを10進数から2進数に変換すると…



IP Address	10101100	00010000	00010001	01000110
Subnet Mask	11111111	11111111	11111111	00000000
	ネットワークアドレス			ホストアドレス

上記のように変換されます。

※ それぞれの2進数は8桁で表記します。数値を右詰めにし、足りない桁は左側に0を補って8桁にしてください。

2進数に変換されたサブネットマスクの「1」の部分の上側の数値が、ネットワークアドレスを表しています。

2進数に変換されたサブネットマスクの「0」の部分の上側の数値が、ホストアドレスを表しています。

- (3). HomeEdge Server をインストールしたPCとHomeEdge Client をインストールしたPCのネットワークアドレスは同じになっているかを確認してください。
- (4). HomeEdge Server をインストールしたPCとHomeEdge Client をインストールしたPCのホストアドレスは異なっているかを確認してください。
- (5). ホストアドレスがすべて「1」、またはすべて「0」でないことを確認してください。



#### Windows 付属の電卓を使用して 10 進数から 2 進数に変換する

Windows に付属している電卓を関数電卓として使用することができます。

- ① [スタート]メニューから[すべてのプログラム] (Windows 2000 環境ではプログラム)→[アクセサリ]へ進み、[電卓]を選択してください。
- ② [表示]メニューから[関数電卓]を選択してください。
- ③ [10 進]のラジオボタンにチェックを付けてください。
- ④ IP アドレスまたはサブネットマスクの数値を入力してください。
- ⑤ [2 進]のラジオボタンにチェックを付けてください。
- ⑥ 2 進数に変換された数値が表示されます。



#### 自動プライベートアドレスとは…

自動プライベートアドレスとは、コンピュータに対してそのコンピュータ自身が IP アドレスを自動的に割り当てたアドレスのことをいいます。

## ■ HomeEdge の Server の設定を確認する

- Canopus HomeEdge の『管理者ツール』で確認する場合
  - (1). [スタート]メニューから[すべてのプログラム](Windows 2000 環境ではプログラム)→[Canopus HomeEdge]と進んで『管理者ツール』を選択してください。
  - (2). [管理者ツール]ウィンドウが起動します。[管理者ツール]ウィンドウの最下部に[実行状態で]と表示されていれば設定は正常に行われています。
- サービスの起動で確認する場合
  - (1). サーバーをインストールしたPCで、[スタート]メニューから[マイコンピュータ]上で右クリックし、[管理]を選択してください。[コンピュータの管理]ウィンドウが起動しますので[サービスとアプリケーション]をダブルクリックしてください。ダブルクリック後、サービスをクリックしてください。
    - ※ Windows 2000 環境の場合、サーバーをインストールしたPCの[マイコンピュータ]から[コントロールパネル]→[管理ツール]→[サービス]をダブルクリックしてください。
  - (2). サービス状況が表示されます。以下のサービスが[開始]と表示されていれば設定は正常に行われています。
    - HomeEdge Menu Service
    - HomeEdge StreamingServer
  - (3). [開始]と表示されていない場合はPCを再起動してください。

## ■ HomeEdge の Client の設定を確認する

- ネットワークの確認
  - (1). [スタート]メニューから[すべてのプログラム](Windows Me/Windows 2000環境ではプログラム)→[アクセサリ]と進み[コマンドプロンプト]を起動してください。  
→ [コマンドプロンプト]ウィンドウが起動します。
  - (2). ping 192.168.0.100 と入力してください。  
(192.168.0.100の部分はHomeEdge Server をインストールしたPCのIPアドレスを入力してください。)
  - (3). 以下のように表示された場合、設定は正常に行われています。

```
Pinging 192.168.0.100 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.0.100:bytes=32 time<10ms TTL=128

Ping statistics for 192.168.0.100:
    Packets:Sent=4,Received=4,Lost=0(0% loss),
    Approximate round trip times in milli-seconds:
        Minimum=0ms,Maximum = 0ms,Average = 0ms
```

以下のように表示された場合、通信は行えません。

```
Pinging 192.168.0.100 with 32 bytes of data:

Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.

Pinging statistic for 192.168.0.100:
    Packets:Sent=4,Received=0,Lost=4(100% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
    Minimum=0ms,Maximum = 0ms,Average = 0ms
```

上記のように表示された場合は、ネットワークケーブル等の接続の問題、またはネットワークセキュリティソフト等をインストールしているために通信が制限されているなどの原因が考えられます。

#### • HomeEdge Server の名前解決を確認

(1). [スタート]メニューから[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット接続]を選択してください。

※ Windows 2000環境の場合はデスクトップ上の[マイネットワーク]をダブルクリックしてください。

(2). [ネットワーク接続を表示]をダブルクリックしてください。

→ 自分のパソコン(HomeEdge ClientをインストールしているPC)とHomeEdge ServerをインストールしているPCのアイコンが表示された場合は、設定が正常に行われています(PCの起動後、表示されるまで、数分～30分程度かかる場合があります)。

HomeEdge Serverの名前が確認できない場合は、Windowsのインストールおよび設定が正しく行われていないなどの原因が考えられます。



再生時に必要な再生コーデックはお客様自身でご用意ください。Canopus DV Codecは当社ホームページよりダウンロードすることでご利用いただけます。